

大川高架橋(P39-P44) 三池工業高校 体験学習会

【BIM/CIM, AR, VR を活用した最新技術や建設現場を体験】

2019年5月30日(木)

開催場所：座学体験(大川市文化センター)

建設現場(堤町交差点付近)

福岡県立三池工業高等学校 社会基盤系土木科2、3年生の54名に建設工事の最新技術を体験してもらう学習会を開催しました。

体験学習会では、佐藤監督官より有明海沿岸道路の概要と国土交通省の取り組みの説明の後、工事で取り組んでいる最新技術であるBIM/CIMの概要を説明しました。



写真1 佐藤監督官より概要と取組説明



写真2 CIM・AR・VRの取り組み状況説明

その後、実際にBIM/CIM・AR・VRを体験してもらうことにより、理解を深めて頂きました。

AR・VR体験には、学校の先生の方々にも体験、最新技術にびっくりしていました。



写真3 AR体験



写真4 VR体験

また、最新技術の体験以外に、グルーガンを用いて、ペーパークラフトにて箱桁の橋梁を制作しました。



写真5 橋梁模型ペーパークラフト(制作状況)

制作した橋の模型は、ペットボトルを乗せて強度試験を行い、楽しく橋を学んで頂きました。



写真6 橋梁模型ペーパークラフト（強度試験状況）

室内での座学の後に建設現場で実際の橋桁に触れてみました。また、床版がなかったため橋の構造をじっくり観察して頂きました。



写真7 建設現場での橋桁見学



写真8 ドローン撮影（桁端部）

さらに、建設現場では高力ボルトの締め付け作業を行い、体験して頂きました。



写真9 高力ボルト締め付け体験



写真10 記念撮影（建設現場）

おわりに、今回の体験学習会を通じて、建設業の魅力ややりがい（地域に残る仕事）を伝えることができました。将来の土木技術者の誕生に貢献できればうれしいです。

工事名：福岡 208 号

大川高架橋上部工(P39-P44)工事

工事場所：福岡県大川市大字津地内

工期：自) 2018年 6月 8日

至) 2019年 6月 28日

諸元：5径間連続非合成鉄桁橋

橋長 L = 180m

トラッククレーンベント架設

発注者名：国土交通省 九州地方整備局

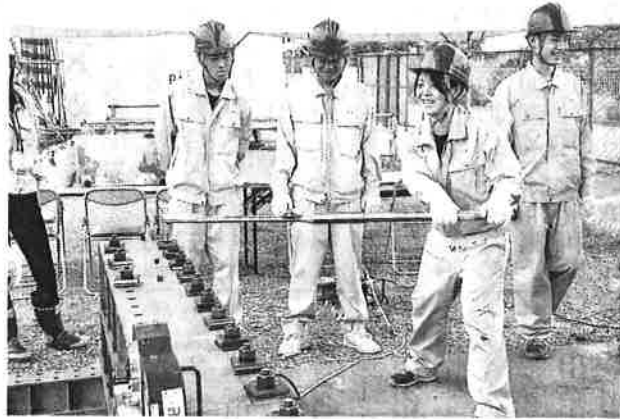
有明海沿岸国道事務所

受注者：瀧上工業株式会社 福岡営業所



瀧上工業が体験学習会

高架橋現場でボルト締等実際 三池工高生徒に建設業の魅力



不足の解消に向けて、土木関係の技術に広く興味を持ってもらうために実施した。国土交通省有明海沿岸道路事務所の協力の下行われた。

現場での見学に先立ち、大川市文化センターで座学を行った。瀧上工業の担当者が現場の概要やBIM、CIMなどの技術について説明。また、有明海沿岸道路事務所の佐藤博信建設監督官が有明海沿岸道路の概要や国交省の仕事内容などを解説し「夢を持ち、楽しみながらできる仕事に就くことを目指してほしい」とあいさつした。

現場では、架設後の橋梁に上り構造などを見学し、高力ボルトの締め付けなどを体験。参加した生徒は「ボルト締めなど、普段はできない体験ができた。今後の就職活動を頑張っていきたい」と述べた。

現場見学後は、大川市文化センターでVR・AR技術や紙での橋梁模型作成などを体験。生徒らは直前に見学した現場をVRで見て、感嘆の声を上げていた。見学先は、有明海沿岸道路の一部である大川高架橋上部工(P39-P44)の現場。同工事の区間は180mで、6月に完了予定。

瀧上工業(株)は30日、大川市の大川高架橋上部工(P39-P44)の現場に福岡県立三池工業高等学校の生徒らを招き、体験

学習会Ⅱ写真Ⅱを開催した。社会基盤系土木学科の生徒約55人が参加し、AR・VR技術の体験や橋梁の構造見学、高力ボルトの締め付け体験などを通じて、建設業の魅力に触れた。

体験学習会は、業界が抱える課題である担い手

写真提供：有明海沿岸道路事務所